

# 高次脳機能障害をご存知ですか？

高次脳機能障害とは、交通事故や脳卒中又は暴力行為などが原因で、ある日突然障害を負ってしまふ。「中途障害」は年齢・性別に関係なく



誰の身にも起こり得る障害です。

見た目には完治しているように見えても「今までと何かが違う」：脳に損傷を受け、日常的事務をすくなく忘れてしまつたり、怒りっぽくなつて、集中力や感情をコントロールできなない等の症状がでます。外見上は分かりにくく、社会や周囲の

# 消防団活動

私は地域の消防団に所属しております。消防団の一環で、今年7月に淡路島の操法大会に出場しました。

操法の意義は、『施設、設備及び人員を活用して災害等を防御、軽減するため、消防吏員、消防団員が消防技術の向上並びに初期消火のため必要な技術を身に付け、いかなる状況下においても、迅速、確実、かつ安全に行動できるように、主要な消防用機械器具のうち、特に反復訓練の必要なものを選定してその操作及び取扱いの基本を定めたものである。』

さらに操法を通じ消防人としての心構えを培い、消防活動に必要な「心・技・体」の基本を養うものである』とされ私も今年2月から7月までの約半年間、週3回で操法技術の練習を重ねてきました。

40歳に近づいた年齢で部活動のようなハードさの中、団員全員が一つの目標に向かって一致団結し練習をする姿は若き日の青春時代を思い出すかのようでありました。

大人になってからこれだけ真剣に取り組む、よき仲間と操法大会に出場できたことは一生の財産になると思います。

(理学療法士 棟近 成氏)



予約は  
こちらから

電話：0799-62-5566 (診療時間内)  
インターネット・携帯電話：<http://www.ukr.jp/soyama/> (24時間対応)  
\*携帯電話からは右のQRコードからでも予約できます\*

# 足立美術館



夏に、島根県にある足立美術館に行ってきました。美術館は、地元出身の「足立全康」が昭和45年71歳のときに開館したもので陶芸、展示物、また、横山大観をはじめ、近代日本画の作品約1500点くらい展示されていきました。作品のどれも感動しますが、訪れた人々が目指すのは、

美術館の奥にある、およそ5万坪の大日本庭園です。米国の日本庭園専門雑誌「ジャーナル・オブ・ジャパニーズガーデン」が行っている日本庭園ランキングで2003年から13年連続で「庭園日本一」に選ばれています。初めてその景色が目の前に現れた時、庭園の広さにも驚きました。美しさにも心が癒されました。また、館内を歩いて

いると壁をくりぬき、1枚の掛け軸のように生の庭園絵画も見ることができ、安らぎという贅沢な時間を過ごすことが出来ました。四季に合わせ1年4回の展示替えもあり、また、違う季節にも訪れてみたいですね。

(介護福祉士 向谷 真由美)

